

【 第7回 女子ユース世界選手権 】

2018年8月7日～19日

開催国：ポーランド・都市：キエルツェ

試合結果報告 8 月 13 日 (月)

JAPAN	VS	CHN(中国)
14	前半	9
12	後半	11
	第一延長	
	第二延長	
26	合計	20

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	千葉 夏希	—	—	0
2	橋口 和佳奈			0
4	辻野 桃香			0
5	阿部 美幸	1	3	4
6	伊藤 愛莉	4	1	5
7	服部 沙也加			0
9	安田 つぐみ		2	2
10	岡田 彩愛	4	2	6
12	榊 真菜			0
13	抜水 うらら	—	—	—
14	平野 宗香	2	1	3
15	谷藤 悠	2	1	3
16	柿添 まどか			0
17	紅林 詩乃			0
18	江本 ひかる		1	1
19	宇治村 唯		1	1
20	守屋 葵	1		1
21	上田 遥歌			0
	合計	14	12	26

戦評

日本の第5戦は中国と対戦。これに勝てば決勝トーナメント進出となる大一番。試合開始早々から日本は積極的なDFから相手のミスを誘い、谷藤のサイド、伊藤のミドル、岡田のカットイン、守屋の速攻などで一気に6-2と主導権を握る。そこで中国がチームタイムアウトを取るが、日本の勢いは止まらず、上田、守屋のDFから平野のサイド、阿部のカットイン、紅林を投入した7人攻撃などで前半を14-9で終える。

後半、相手は0-6DFから1-5DFに変えてくるが、日本の勢いは止まらず。宇治村、安田の速攻で確実に加点する。守っては服部、辻野が粘り強いDFを展開、GK榊、柿添も要所でナイスセーブを連発した。結果、26-20で勝利し、決勝トーナメント進出を決めた。

試合を重ねるごとに、世界との戦い方を選手達が理解してきている。次はDリーグ1位の韓国との対戦。粘り強いDFを発揮したい。

報告記入者：

安藤 希沙